



新潟開港 150 周年記念
東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館収蔵

東郷青児展

2019 年
1 月 12 日(土)—3 月 24 日(日)

開場式
1 月 12 日(土) 午前 9 時から

①東郷青児《四重奏》1955 年
©Sompo' Museum of Art, 18003

絵画約 80 点に短編小説やデザインの仕事を加えて、東郷芸術の全体像を紹介

憂いを帯びた女性像で広く知られる洋画家・東郷青児(1897-1978)。1915 年、初個展の出品作が有島生馬の目にとまったことをきっかけに、翌 16 年の第3回二科展に初出品。未来派の影響を受けた絵画で二科賞受賞を果たし、鮮烈な画壇デビューを飾りました。以後、気鋭の前衛画家として活躍し、21 年には渡欧。本場イタリアで未来派の運動に参加したほか、フランスでパブロ・ピカソや藤田嗣治らとも交流しました。28 年の帰国後は一転、難解な芸術理論とは距離を取って「大衆に愛される絵画」を理想に掲げるようになります。戦後は二科展を中心に画壇復興に尽力。繊細な色遣いで、透きとおるような肌、しなやかなしぐさ、伏し目がちで夢見るような表情の「青児美人」を描き一世を風靡しました。

本展では、東郷絵画の変遷を辿る約 80 作品と共に、有島生馬や中川紀元ら東郷旧蔵の関連作家作品。絵画制作と並行して取り組んだ、書籍の装幀や企業パンフレット、洋菓子店の包装紙などの「デザインの仕事」。エッセイや短編小説などの「言葉の仕事」も併せて紹介し、東郷芸術の全体像をご覧ください。

本展は、2017 年に締結された新潟市と損保ジャパン日本興亜との地域創生に関する包括連携協定に基づき、文化・芸術振興の一環として開催するものです。

基本情報

展覧会名	東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館収蔵 東郷青児展
会場	新潟市美術館 企画展示室
会期	2019年1月12日(土)～3月24日(日) 62日間
開館時間	午前9時30分～午後6時 (券売は閉館30分前まで)
休館日	月曜日 (ただし1月14日、2月11日は開館)、1月15日(火)、2月12日(火)
観覧料	前売 一般 550円 当日 一般 700円(550円) 大学・高校生 500円(400円) 中学生以下無料 ※()は、20名以上の団体、リピーター割引料金 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料
前売券	<u>販売期間 2018年11月23日(金)～2019年1月11日(金)</u> 【販売所】新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、インフォメーションセンターえん、セブン-イレブン(セブンチケット) ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。
主催	新潟市美術館
共催	新潟日报社
特別協力	東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館、損保ジャパン日本興亜
協力	第四銀行、北越銀行、FM PORT79.0

関連イベント

②～④は事前申込み不要

①よるの朗読会 2月16日(土) 東郷青児をよむ

1930～50年代、東郷は絵画と並行して短編小説を熱心に発表しました。女性達へのまなざしを、虚実とユーモアを織り交ぜて綴った文章を展示室で味わいます。

出演：島村 仁(しまむら・じん)氏
(ラジオDJ、FM PORT「BEAT COASTER」ナビゲーター)
18時～(60分程度) ※延長開館での開催です。
会場：企画展示室
対象：高校生以上、定員100名、要当日観覧券

申込み方法： 2019年1月31日(木)必着
往復はがきで①参加者全員の氏名と年齢、②代表者の電話番号と住所、③「よるの朗読会」をご記入の上、美術館へ申し込みください。はがき1通につき2名まで記入可。応募多数の場合は抽選となります。

②講演会 3月10日(日) 青児美人とその時代

前衛的表現を目指した美術団体「二科」において、美人画を描き続けた東郷。その制作態度を時代背景とともに読み解きます。

講師：中島 啓子(なかじま・けいこ)氏
(東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館主任学芸員)
14時～(90分程度)
会場：講堂
申込不要、聴講無料、定員100名(先着順)

③担当学芸員によるギャラリートーク 1月27日(日)、2月10日(日)・24日(日)

各日14時～(約30分)
会場：企画展示室 申込不要、要当日観覧券

④美術講座 世間を騒がせた画家たち 3月16日(土)

藤田嗣治や東郷青児、岡本太郎らは、広く一般の話題をさらった文化的スターでした。彼らのような存在は今の美術界にはいないかもしれません。戦後美術史・風俗史を彩った画家たちの逸話を通じて、世の中と美術の関わりを考えます。
講師：藤井素彦(当館学芸員)

14時～(約90分) 会場：講堂 申込不要、聴講無料、定員100名(先着順)

本リリースに掲載の画像は、本展をご紹介いただける場合に限り、データ提供が可能です。

※以下はすべて、東郷青児の作品。©Sompo' Museum of Art, 18003

※作品画像のトリミング、文字のせがある場合は、著作権者への確認が必要になります。期間にゆとりをもってお申込みください。



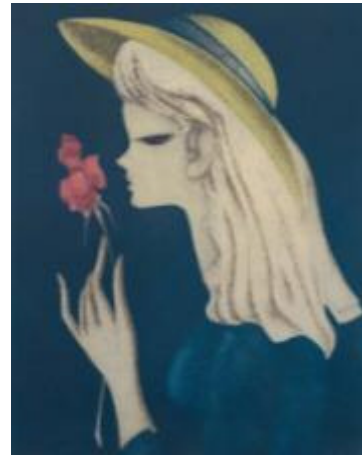
左から ②「コントラバスを弾く」1915年 ③「ピエロ」1926年
④「超現実派の散歩」1929年 ⑤「黒い手袋」1933年



⑥「婦人像」1936年



⑦「空の街」1963年



⑧「バラ一輪」1966年頃



⑨「安田火災住宅総合保険
リーフレット原画」1961年



⑩「鳥と少女」1971年

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

新潟市美術館（担当：上池、松沢）

〒951-8556

新潟市中央区西大畑町 5191-9

TEL: 025-223-1622

FAX: 025-228-3051

E-mail : museum@city.niigata.lg.jp

東郷青児展

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式(2019年1月12日午前9時～)の取材、記事掲載時の作品写真(画像データ)及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAX でお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望・チケットプレゼント希望・記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス(データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	1月12日開場式・開場式以降(月日時頃)・取材予定なし
取材スタッフ	計名(内カメラクルー名)
掲載・放映予定日	月日
チケットプレゼント希望	組枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	